

矢賀 学区だより

第435号 (毎月1回)
令和 元年 8月 1日
編集発行
矢賀学区連合町内会
矢賀学区社会福祉協議会

「青少年によい環境を

あたえる運動」

東区推進大会 開催

「青少年によい環境をあたえる運動」東区推進大会が七月六日(土)十時から、東区民文化センターで開催されました。

まず主催者を代表して中村東区青少年健全育成連絡協議会会長及び篠原東区長の挨拶があり、続いて名越広島東警察署長の来賓挨拶がありました。

開会行事に続いて、アトラクションとして、ヒューマンソンググループ「ザ♡わたしたち」による演奏があり、手話を交えた曲を会場にいる全員で合唱しました。

後半は、広島県立広島中央特別支援学校の講師で「人にやさしい地域環境づくり」視覚障害の方に対する理解と支援」と題して講演がありました。

最後に「青少年によい環境をあたえる運動」の推進宣言が発表され、青少年の健全育成への取り組みの決意が表明されました。

当日は、矢賀学区からは各町内会・各種団体・矢賀小学校から四十四名の出席を頂きました。

皆様方のご協力まことに有り難く、感謝申し上げます。



開 会 式



講 演

『推進宣言の要旨』

私たち東区民は、これまでに青少年の健全な成長を願い、安心・安全な町づくり、地域の環境浄化、さらには子どもにとって心の安らぎが実感できる家庭づく

りなど「青少年によい環境づくり」に務めてきました。

しかしながら、青少年のいじめ、不登校万引きなどは依然として大きな問題であり、さらにはSNSなどによって助長される無自覚ないじめ、誹謗中傷、また容易に接続できる有害サイトによる被害拡大など、今日の青少年の環境は、まだまだ憂慮すべき事態にあります。

本日、この「青少年によい環境をあたえる運動」東区推進大会を機に、私たちはその使命と責任を再確認し、地域連帯を基調とした青少年健全育成活動のさらなる発展をめざし、力を合わせて次のことを行います。

一、「いじめを生まない風土」の醸成。
一、「人にやさしい環境づくり」に取り組み、子どもたちにもこれを理解させていく。

一、家庭では、家族が一緒に会話する機会を増やし、SNSなどの使用についても話し合う。

一、地域では、お互いに声を掛け合い、「こども一〇番の家」の登録促進や、明るく、安全な町づくりを行う。

矢賀地区青少年健全育成連絡協議会

会長 光永 暢博

夏祭り 追悼盆踊り大会 開催のご案内

八月四日(日) 矢賀小学校グラウンドで、夏祭り・追悼盆踊り大会を開催します。

やが和太鼓クラブの和太鼓演奏やよさこい踊りも披露されます。多数ご参加下さい。

17時〜 夜店コーナー
18時〜 和太鼓演奏・よさこい踊り・盆踊り

雨天の場合は、中止します。

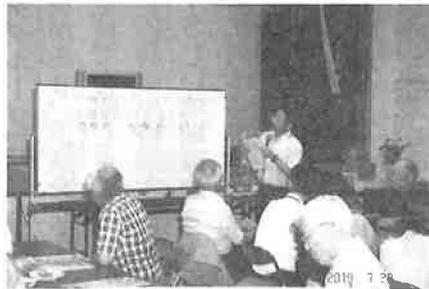


第55回なごみの会開催

七月二十二日(月) 十二時三十分から矢賀中央集会所で、第五十五回なごみの会が開催されました。

百七名の参加があり、会食の後、

防犯について広島東警察署の木崎様の講演を聞いた後、ビンゴゲーム他で楽しい一時を過ごしました。次回のなごみの会は、十一月に開催の予定です。



防犯について講演

ロコモ予防教室開催

七月十七日(水) 十三時三十分から矢賀中央集会所で、ロコモ予防教室が開催され、三十名が参加しました。

ロコモ(関節や筋肉などの運動器の衰えが原因で、「立つ」「歩く」といった機能が低下している状態)予防のエクササイズで、バランス力や足・腰の筋力アップのための練習法

を習いました。

また、高齢者の熱中症対策として、「からだづくり」や「暑さ対策」について説明を受けました。



ロコモ予防教室

矢賀学区長寿会連合会

小学校だより

七月十三日(土) 矢賀児童館まつりが開催されました。行つてすぐに児童館の玄関前で地域活動クラブの村上さんにご挨拶しました。雨を見越して、玄関前にテントが何張りか立ててありました。それが、全て村上さんのお仕事と聞いて、本当に頭

の下がる思いでした。また、女性会のみなさんが、手作りのコロッケを子どもたちのために準備してくださって

いました。私も晩ご飯用に六個買って帰りました。妻も息子も「おいしい。おいしい。」と言って、私の分まで食べてしまいました。さらに、地域活動クラブの串本さんを中心に子どもたちが楽しめる様々なゲームを準備してくださっていました。お昼のカレーライスもとってもおいしかったです。

このようにたくさんの方々から子どもたちの笑顔が生まれるように力を尽くしてくださっていることに對して、本当にありがたく思っています。

八月二日(金)には、矢賀中央集会所で、三世代交流会(矢賀学区長寿会連合会女性部後援)があります。今年、ペットボトルを使った空気砲やペットボトルのキャップを利用してマグネットを作るのだそうです。たくさんのお子さんが参加して、地域のみなさんと交流し、楽しいひとときを過ごしてくれることを願っています。

*** お願い ***

矢賀小学校では、教室環境を整えるため全ての机いすの脚に使わなくなったテニスボールをつけています。

一個でも二個でもかまいませんので、ご協力いただける方は、教頭までご連絡ください。よろしくお願いいたします。



5年生と矢賀幼稚園の交流会

八月の行事

2日(金)三世代交流会

3日(土)水泳記録会

(五・六年児童有志参加)

4日(日)追悼盆踊り

6日(火)授業日 平和の集い

13日(火)～15日(木)

学校閉庁日(昨年度から実施されている施策、この3日間は、学校にはだれもおりません。)

16日(金)職員は、八月六日の代休

日で、この日も学校にはだれもおりません。

25日(日)美化作業

28日(水)学校保健委員会

30日(金)三時間授業

広島市立矢賀小学校

校長 原 徹

幼稚園だより

「共用ワゴン」

今年の夏祭りは雨で、伝統の「どんくん音頭」は運動会でのお楽しみになりました。

さて、夏祭りで毎年必ず登場するのがアイスクリーム屋です。今年も夏祭りの二週間ほど前から、四歳児あか組で始まりました。

子供たちがアイスクリーム好きということももちろんあるのですが、いろんな味で色がきれいで、テイシヤーですくう動作が楽しい。そして、最近はやカード決済に押され、あまり機会がなくなつた、お金と品物との

シンプルな交換が体験できるからでしょうか、とにかく大盛況です。夏祭りをはじめ、売り買いをして遊ぶ場合は、買い手よりも圧倒的に売り手が人気です。とにかくたくさん売りたい！売って売って売りまくりたい！

自分のクラスだけでは、お客さんの数も限られます。それで満足するはずもなく、アイスクリームやコーン、カップをワゴンに乗せ、ガラガラと押しながら移動販売を始めます。

目指すは職員室、園長室。「アイスクリームはいかがですか」と、目をキラキラさせながらきいてきます。

「抹茶アイスをお願いします」と注文すると、アイスクリーム屋の帽子をかぶつた子供たちが一斉に、コーンにのつたアイスクリームを差し出します。ひとつのワゴンを囲んでいるけれど、子供たちの意識は、「お客さんとお店の私たち」ではなく、どこまでも「お客さんと私」のようです。

一緒にお店をしているようで、実は子供一人一人が店主であり、個人事業主なのです。この四歳児らしいあか組の様子をみると、全部のアイスクリームを食べないわけにはいき

ません。たとえ、お腹一杯でも、でも、ひとつのワゴンを仲良く共有できるなんて、もしかしてとても高度なことかも？



エプロンや帽子があると、すっかり「なつたつもり」です。

八月の行事

8日(木)わくわくランド

広島市立矢賀幼稚園

園長 井筒 敦子

児童館だより

児童館まつりを2年ぶりに開催することができました。あいにくの雨

天になりましたが、児童館の中は、子どもたちの喜ぶ声で活気にあふれていました。

今年の児童館まつりは「めざせ！やが王」をテーマに、準備の期間から、3年生から6年生のスタッフ8人が積極的に準備に取り掛かりました。6年生を中心に、看板づくり、飾りつくりなどしました。児童館の門の横の手作り看板に気づいてくれたことでしょうか。

当日は、オープニングにスタッフさんが司会を務め、練習期間が短かつたにも関わらず、堂々とした司会でした。そして、放課後児童クラブによる「CCダンス」を披露しました。ピンクのカープのユニホームと帽子をまとい、かつこよくダンスをする姿は、とても素敵でした。

「めざせ！やが王」のテーマをもとに、各五つのコーナーにチャレンジをしたり、キラキラボックスの工作や、カープのクイズを中心にしたクイズQさまなどを、100人近くの子どもたちがたのしみました。ゲームのコーナーでは、スタッフがカードチェックやゲームの進行などそれぞれ頑張ってくれました。来年もスタッフに

挑戦してくれるお友達を期待しています。

児童館まつりの中で子どもたちの活き活きと楽しんでいる様子を見るのができました。これからも子どもたちといろいろな活動を続けていきたいと思えます。地域活動クラブ、女性会、放課後児童クラブ保護者会と、たくさんの方々のご協力を頂きありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

8月の児童館 開館日

(学校長期休業中)
平日 12時～18時30分
土日曜日 10時～16時
休館日 4日・12日・13日・14日・15日・18日

8月の行事

5日(月)～9日(金)夏休み工作
パート1
19日(月)～23日(金)夏休み工作
パート2
29日(木)避難訓練

広島市矢賀児童館

保健師です

こんにちは
今回は、「風しん」についてお話しします。

風しんは、風しんウイルスによる感染症で「三日はしか」とも言われ、主に感染者の飛まつ(唾液のしぶき)などによって他の人にうつる感染力の強い感染症です。感染すると、発熱、発疹、リンパ節の腫れなどの症状があらわれ、大人は子どもよりも重症化しやすく、まれに重篤な合併症を併発することがあります。

平成30年7月頃から関東圏を中心に風しん患者が増えており、平成30年12月30日までに、全国で29

17人の風しん患者の届出がありました。その患者の多くは30代～50代の男性です。この年代の男性は過去に風しんの予防接種を受ける機会がありませんでした。(現在は、1～2歳未満で1回目、5～7歳未満で2回目の予防接種が公費で受けられます。)

そのため、厚生労働省からの通知を受けて、広島市では、これまで風しんの定期接種を受ける機会がなか

つた、昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性のうち、今年度は、昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性へ、無料で抗体検査・予防接種が受けられるクーポン券お届けしています。今年度の送付対象でない方も、早めに抗体検査・予防接種を希望される場合は、広島市ホームページの申込フォームから申し込みが可能です。(約2週間です。)

クーポン券を利用して、まず医療機関(市外も可)で抗体検査を受けていただき、その結果、十分な量の抗体がない方は予防接種が受けられます。クーポン券には期限があります。

あなたのご家族、そしてあなた自身を風しんから守るために、この機会に予防接種を受けましょう。



東保健センター(地域支えあい課)

電話:0882(568)7729

保健師 平西 桃子